

U.S. Indicators

発表日: 2024年10月18日(金)

米国9月鉱工業生産は航空機メーカーでのスト、ハリケーンで縮小

～米航空機大手メーカーでのストライキ、ハリケーン襲来が9月生産を0.6%p押し下げ～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24年9月の鉱工業生産は、米民間航空機大手メーカーでのストライキのほか、ハリケーン「フランシーヌ」、「ヘリーン」の襲来により、前月比▲0.3%（前月同+0.3%）と減少に転じ、市場予想中央値の同▲0.2%（筆者予想同▲0.2%）を下回ったうえ、24年4月-8月合計で0.2%下方修正された。FRBによると、米民間航空機大手メーカーでのストライキによって0.3%p、2つのハリケーンの襲来によって0.3%pの押し下げとなった。これらの要因を除けば+0.3%拡大していた。

公益が2ヵ月連続の大幅な落ち込みの反動等により同+0.7%（前月同▲1.3%）と上昇に転じた一方、鉱業が2つのハリケーンの襲来によって前月比▲0.6%（同+0.7%）と減少に転じたほか、製造業は米民間航空機大手メーカーでのストライキの影響などもあり前月比▲0.4%（同+0.5%）と減少に転じ、市場予想中央値の同▲0.1%（筆者予想同▲0.2%）を下回ったうえ、24年4月-8月合計で0.9%下方修正された。

7、9月のハリケーン襲来のほか、9月の民間航空機大手メーカーでのストライキによる生産活動の落ち込みによって、3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率で、9月の製造業生産が▲0.4%（前月+0.1%）、鉱工業生産が同▲0.6%（前月+1.0%）とマイナスに転じ、生産の拡大モメンタムが失われた。ストライキによる生産への悪影響は、終了するまで続くが10月18日時点で継続している。一方、ハリケーンの影響は、10月も新たなハリケーンの襲来によって継続する可能性があるが、工場や設備の被害が少なければ一時的な落ち込みとなり、早期の回復が期待できる。また、製造業生産は、底堅い需要や在庫調整の進展を背景に11月にも拡大基調を回復すると見込まれる。

9月の設備稼働率は、生産能力の拡大が続くなか、生産の縮小によって製造業が76.7%（前月77.1%）、鉱工業が77.5%（前月77.8%）と低下、製造業、鉱工業ともに依然として23年よりも低い水準にとどまっている。

製造業の業種別生産動向を前月比で見ると、拡大した業種は、拡大幅の大きい順に、石油・石炭製品（+1.8%）、木材製品（+1.4%）、印刷・同サポート（+1.0%）、その他耐久財（+0.7%）、一次金属（+0.5%）、化学（+0.3%）、その他製造業（+0.3%）、コンピューター・電子（+0.3%）の8業種（前月9業種）と減少した。ハイテク部門は、前月比+1.5%（前月+1.3%）と高い伸びを続けた。一方、縮小した業種は、縮小幅の大きい順に、航空宇宙・その他輸送機器（▲8.3%）、繊維（▲4.2%）、アパレル・皮革（▲2.6%）、自動車・同部品（▲1.5%）、家具・同関連製品（▲1.5%）、電気設備・機器・同部品（▲1.4%）、紙パ（▲0.6%）、非鉄（▲0.5%）、加工金属（▲0.1%）、一般機械（▲0.1%）、食品・飲料・タバコ（▲0.1%）、プラスチック・ゴム（▲0.1%）の12業種と前月の11業種から増加した。

前年比で拡大した業種は、コンピューター・電子、電気設備・機器・同部品、紙パ、印刷・同サポ



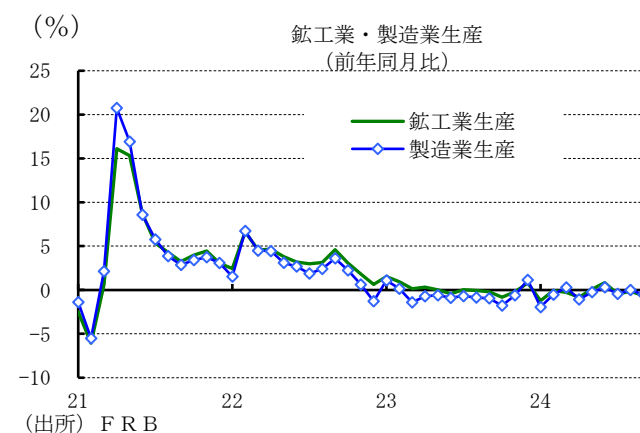
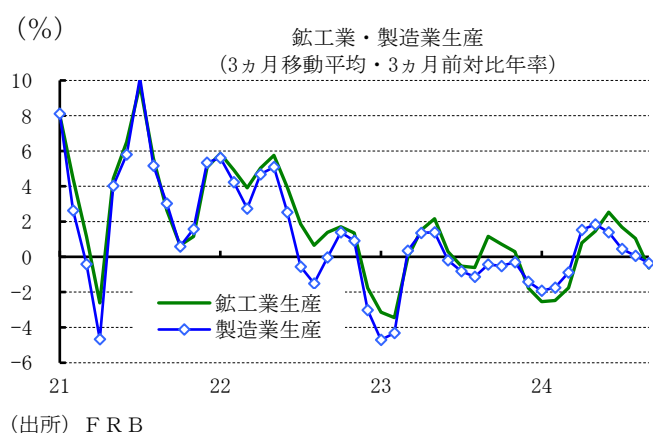
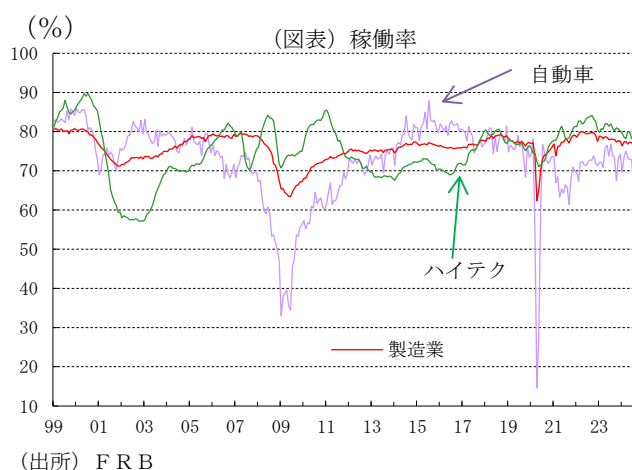
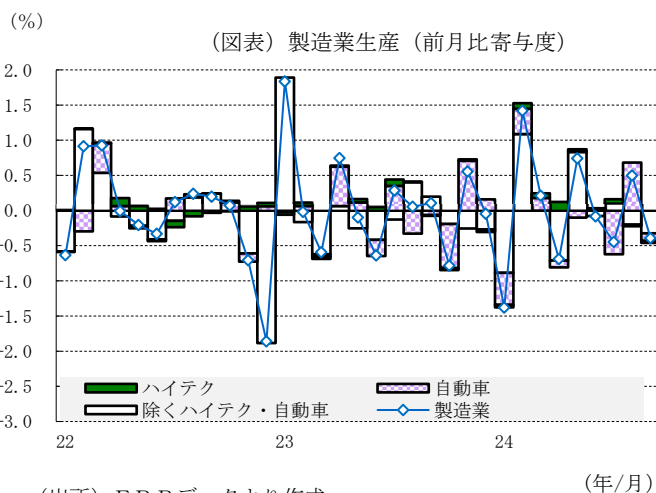
ート、石油・石炭製品、化学の6業種にとどまり、製造業全体で▲0.5%（前月0.0%）と減少に転じた。

24年の製造業生産は、過去の数値の下方修正のほか、9月の下振れによって、前年比▲0.4%（23年▲0.5%）と2年連続で縮小するとみられる。25年には、国内需要の拡大が続くもと、先行き不透明感の払拭、循環的な拡大等を背景に、同+0.8%と小幅増加すると見込まれる。

鉱工業生産

	鉱工業生産		製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連		設備稼働率 全産業	製造業 (SIC)	生産能力
							自動車関連				
23/10	▲0.7	(▲0.8)	▲0.7	▲0.8	▲0.4	+1.8	▲0.8	▲8.0	+78.3	+77.4	+0.1
23/11	+0.3	(▲0.2)	+0.5	▲0.2	▲0.2	+0.6	+0.5	+8.8	+78.4	+77.7	+0.1
23/12	▲0.2	(+0.8)	▲0.1	+0.6	▲2.4	+0.3	▲0.1	+1.3	+78.1	+77.6	+0.1
24/01	▲1.1	(▲1.2)	▲1.3	▲4.3	+4.3	+0.2	▲1.4	▲5.9	+77.2	+76.5	+0.1
24/02	+1.2	(▲0.1)	+1.4	+4.3	▲3.6	▲0.3	+1.6	+5.8	+78.1	+77.5	+0.1
24/03	▲0.2	(▲0.3)	+0.2	▲0.6	▲2.4	+0.6	+0.1	+2.1	+77.8	+77.5	+0.1
24/04	▲0.2	(▲0.8)	▲0.7	▲0.1	+3.6	+3.1	▲0.8	▲2.0	+77.7	+76.9	+0.1
24/05	+0.7	(+0.1)	+0.7	▲0.7	+2.2	+1.0	+0.6	▲0.5	+78.1	+77.4	+0.1
24/06	+0.2	(+0.8)	▲0.1	+0.3	+1.5	▲1.3	+0.0	+0.2	+78.2	+77.2	+0.1
24/07	▲0.6	(▲0.5)	▲0.5	▲0.9	▲1.1	+0.9	▲0.6	▲8.7	+77.6	+76.8	+0.1
24/08	+0.3	(▲0.2)	+0.5	+0.7	▲1.3	+1.3	+0.6	+9.9	+77.8	+77.1	+0.1
24/09	▲0.3	(▲0.6)	▲0.4	▲0.6	+0.7	+1.5	▲0.6	▲1.5	+77.5	+76.7	+0.1

(注)カッコ内は前年比



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。